

相生デイサービス新聞

発行所
相生DS
44-4165



レンゲショウマ

夕暮れに可憐な白粉花

ザーっと暑さを洗い流す雲が去って、

白粉花が夕暮れのなかに輝きます。

ひとつ、ふたつ

赤い花びらが

濡れた舗道に

落ちていました。

都々逸

ためを思っ

逢わずにいるが

聴かせてあげたい

夢もある

(都々逸読本)

旬 八月の魚介類



←ウニ
ホヤ
アワビ
トビウオ
シマアジ
スズキ など



季節のことば

七十二候より

寒蟬鳴く 12日 ~ 16日

(ひぐらしなく)

カナカナ カナカナ

この声をきく時季節は
夏から秋へと移ろう。

床屋さん

12(水)

20(木)

28(金)



夏のアツサエモ マケヌ...



甘酒は夏の季語

旅...

小さな港町の路地を入ったら



風物詩

(杣名産)



国産カゼヨウ 98%生産

田園風景の中を... 真岡鉄道



ユーモアくらぶ

「あ〜」

売れない役者が
海に落ちた。

灯台の灯りが彼を
照らしている。

「早く、もどれ」

しかし、

彼はもどらず力尽
きた。

きた。

スポットライトをいつ
までもあびていたかつ
たのだ。

天声珍語

健康診断の

結果が届いた

正常な箇所

は、

ふたつ、みっつ。

他はすべて

悲しむべき

数値が

スタンプされて

いた。

それでも、

飲む酒は

うま〜、食べ

る料理も

うまかった。

すべし、女性

にも、

つい、ふりむいて

しま〜う。

(きれいなひと

の場合)

私は、

それなりに健康

なのだ。

10日は山の日。

久しぶりに、
山道に咲く
りんどうの花
が可憐な姿
を見せてくれ
るはずで
ある。